第２４８回松山市観光俳句ポスト

第２４８回開函

「櫟」　主宰　阪本　謙二　選

特選三句

湯神社の境内覆ふ樟若葉
　愛媛県伊予郡　高市　良史

ひそやかに明教館の桜かな
　京都府京都市　槇井　一晃

晩年といふ静けさや夏落葉
　愛媛県東温市　松田　次夫

入選二十句

振り向けば子規のほほえむ風薫る
　東京都江戸川区　遠藤　道雄

初桜探しあてたる札所かな
　徳島県阿南市　数藤　君子

五月雨と黄砂にけぶる松山城
　奈良県奈良市　金子　誠二

銃眼の視界の中の鯉のぼり
　愛媛県新居浜市　近藤　静

マドンナの笑顔が揺れる藤の花
　愛知県岡崎市　新海　眞二

子規堂の窓は明るし柿若葉
　福岡県福岡市　西野　研一

藤棚の碑がみちしるべ山頭火
　愛知県春日井市　野田　公雄

雲海の下は大雨しばし待つ
　奈良県橿原市　浜本　佳美

旅人の背にひとひらの桜吹雪
　大阪府吹田市　原本　朋代

子規庵をひとり占めして春惜しむ
　岐阜県岐阜市　船戸　成郎

内子座の赤き桟敷に春の風
　東京都江戸川区　松蔭　眞由美

うぐひすに送られて出る乾門
　岐阜県美濃加茂市　三輪　雪子

豆腐屋の喇叭過ぎゆく薄暑かな
　滋賀県大津市　森下　吉二三

山の子の蕨目ざとく見つけゆく
　東京都練馬区　山内　陽子

子規堂の座布団小さし新樹光
　富山県富山市　練会　澄子

バスの背に桜三里の花吹雪
　愛媛県西条市　和田　正

（市内）

踏むによし拾へば限りなき落葉
　愛媛県松山市　白石　智子

春惜しむ道後の絵図に磁石のせ
　愛媛県松山市　西山　たかし

（十五歳以下）

花吹雪散った花びら湯に浮かぶ
　愛媛県松山市　上田　有由夢

神社への階段長し春の昼
　愛媛県松山市　菊池　希実子

投句総数　二一二一
　市外　一四九八
　市内　六二三
投句者総数　一二七〇
　市外　八七二
　市内　三九八

開函日　平成二十三年五月三十一日